

令和3年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

概要	名称	公益財団法人宮崎県移植推進財団		所在地	宮崎市橋通東2丁目10番1号	
	電話番号	0985-25-3106		ホームページ	https://m-is yokusuisin.com	
	設立年月日	平成4年7月7日	代表者	理事長 濱田 政雄	県所管部・課	福祉保健部 健康増進課
	総出資額	46,794千円	県出資額	29,619千円	県出資比率	63.3%
	設立目的	臓器移植を推進するため、県民への移植医療の知識や意義の普及啓発、医療機関への情報提供及び移植医療が適正に行われるための支援を行い、もって県民の健康及び福祉の向上に寄与することを目的とする。				
特記事項	臓器の移植に関する法律（平成9年法律104号）第3条に、移植医療に関する普及啓発は国及び地方公共団体の責務であることが規定されている。					

内容		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
改革工程	①公社等のあり方見直し	新公益法人制度での運営	臓器移植コーディネーターを常勤化し、組織体制の強化を行った。	事務局を3名から2名体制にスリム化し、経費の削減を行った。	より効率的な業務運営を検討する。	
	②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	事業計画に基づく事業の実施	腎臓をはじめとする臓器移植に関する啓発をより積極的に行った。	コロナ禍の状況においても、臓器移植に関する啓発を積極的に行った。	新たな収益の確保について検討する。
		財務改善	賛助会員・寄附金等の拡大、基金取崩額の減額	県内企業、医療機関等への直接訪問や、新たな取組により、賛助会費・寄附金の増額を図った。	賛助会費・寄附金収入が増えるとともに、事務局体制をスリム化したことにより基本財産の取崩額が減った。	引き続き賛助会費、寄附金の増額及び基本財産の取崩額の減を図る。
		組織等適正化	組織体制の充実に向けた検討	臓器移植コーディネーターを常勤化し、組織体制の強化を行った。	事務局を3名体制から2名体制とし、スリム化した。	効率的な組織体制の構築を行う。
	③県と公社等見直し等の関	人的支援見直し			組織体制維持のため、人的支援を維持した。	独立した運営の検討を行う。
財政支出見直し		現在の補助金を維持	組織体制の維持のため、補助金の額を維持した。	組織体制維持のため、補助金の額を維持した。	必要な補助金を確保する。	
④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	ホームページによる財務状況、活動状況等の情報公開を積極的に行った。	ホームページによる財務状況、活動状況等の情報公開を積極的に行った。	ホームページによる財務状況、活動状況等の情報公開を積極的に行う。		

	(人)	令和2年度			令和3年度				
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	8	3	2	3	8	3	2	3
	常勤	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤	8	3	2	3	8	3	2	3
	職員数	2	0	1	1	2	0	1	1
財政支出等	(千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	(千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	県委託料	0	0	0	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	6,493	7,303	7,444	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
その他の県からの支援等		事務局を県福祉保健部健康増進課内に置いている。							

主な県財政支出の内容	事業名	事業内容	令和2年度	令和3年度	種別
			決算額(千円)	予算額(千円)	
①	宮崎県臓器移植推進事業補助金	臓器移植の円滑な実施及び移植医療の普及を図るための一部補助で、対象経費は活動に必要な経費	7,444	7,444	補助金
②					
③					
④					
⑤					

実施事業	①普及啓発に関する事業 ②臓器提供者の募集及び腎臓移植希望者の登録に関する事業 ③臓器移植関係機関相互の連絡調整に関する事業 ④腎臓移植等に対する助成に関する事業 ⑤臓器のあっせんに関する事業							
	活動指標	指標名	算式(単位)	令和2年度			令和3年度	令和4年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	①	会議(研修会)回数	会議(研修会)回数(回)	2	1	50.0%	2	2
②	臓器提供意思表示カード配布	カード配布枚数(枚)	20,000	13,798	69.0%	20,000	20,000	
③								
指標の設定に関する留意事項								

財務状況	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	経常収益	13,262	13,274	12,129	資産	53,324	51,081	51,107
	経常費用	12,963	13,561	11,431	流動資産	3,094	3,051	4,277
	当期経常増減額	299	-287	698	固定資産	50,230	48,030	46,830
	経常外収益	0	0	0	負債	2,489	2,754	3,303
	経常外費用	0	0	0	流動負債	2,489	2,754	3,303
	当期経常外増減額	0	0	0	固定負債	0	0	0
	税引前当期一般正味財産増減額	299	-287	698	正味財産	50,835	48,326	47,804
	法人税・住民税及び事業税	21	21	21	指定正味財産	50,194	47,994	46,794
	当期一般正味財産増減額	278	-308	677	(うち基本財産への充当額)	50,194	47,994	46,794
	一般正味財産期首残高	363	641	333	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	一般正味財産期末残高	641	333	1,010	一般正味財産	641	333	1,010
	当期指定正味財産増減額	-2,900	-2,200	-1,200	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	指定正味財産期首残高	53,094	50,194	47,994	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	指定正味財産期末残高	50,194	47,994	46,794				
	正味財産期末残高	50,835	48,326	47,804				

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式(単位)	令和2年度			令和3年度	令和4年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	自己収入比率	(基本財産運用益+自己収益) / 経常費用計 × 100 (%)	20.0	23.8	119.0%	20.0	0.0
	※ 令和2年度 実績値の算式	(9千円+1,452千円+1,265千円) / 11,431千円 × 100					
②	事業費比率	事業費 / 経常費用計 × 100 (%)	68.0	90.7	133.4%	68.0	0.0
	※ 令和2年度 実績値の算式	10,363千円 / 11,431千円 × 100					
③							
指標の設定に関する留意事項							

直近の県監査の状況	令和2年度財政援助団体等の監査(令和2年10月9日)を受けた結果、指摘事項等はなかった。
-----------	--

総合評価	公社等自己評価 臓器移植の普及促進に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、キャンペーンを規模縮小の上で実施したほか、連絡会議をオンラインで開催する等、工夫しながら活動を行った。財務体質に関しては、事務局を3人から2人体制として経費節減を図るとともに、受取会費及び受取寄附金の増額に努め、前年度に比べ基本財産取崩額の圧縮が図ることができた。今後とも、事業展開も考えながら財務体質の改善に取り組みたい。	県所管部課二次評価 新型コロナの影響で計画どおりの普及・啓発事業は困難な状況であったが、工夫しながら可能な限りの事業を実施している。また、受取会費及び受取寄附金が前年度より増えたことに加え、事務局体制をスリム化し効率的な運営に努めた結果、基本財産の取崩額は前年度より圧縮している。引き続き財務体質の改善に取り組みながら、効率的に事業を実施する必要がある。
	評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い) 改革工程 B 活動内容 B 財務内容 B 組織運営 B	評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い) 改革工程 B 活動内容 B 財務内容 B 組織運営 B
	目標達成度 	公社等改革推進委員会三次評価 活動内容については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け、腎臓提供協力病院との連絡会議や移植医療の普及啓発活動を十分に実施できず、指標の目標値を達成することができなかった。連絡会議や普及啓発活動の方法を改善し、臓器移植の推進の取組を強化する必要がある。 財務内容については、会費及び寄附金等の自己収入が一昨年度から増加するなど、収入確保の取組による成果が見られ、一定の評価ができる。しかし、基本財産を毎年度取り崩しており、自己収入の確保の取組を強化していく必要がある。 臓器移植の普及促進という極めて公益性の高い事業を担っていることから、活動の充実と財務面の強化が求められる。